

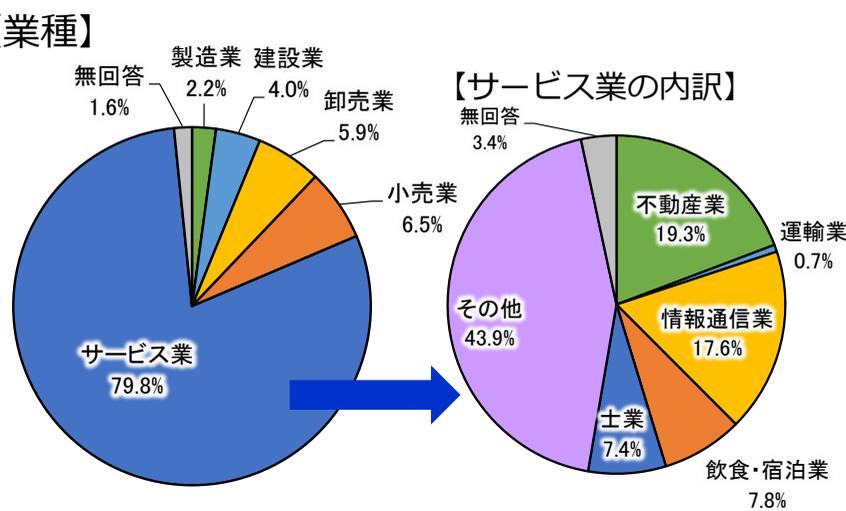
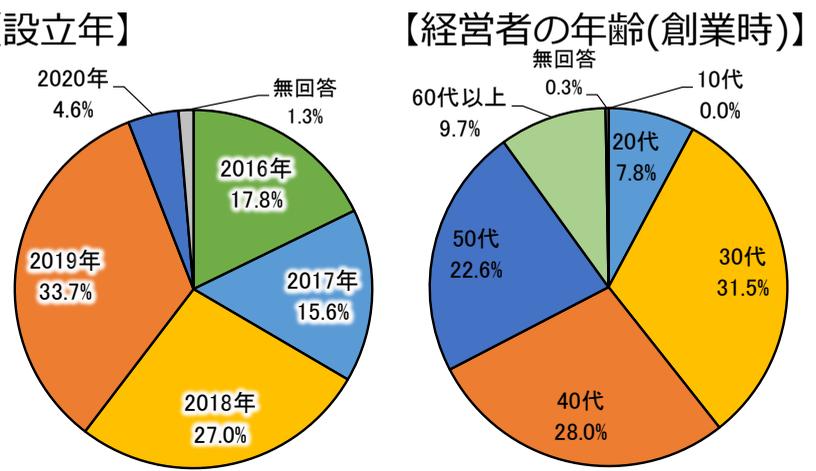
豊島区内創業者へのアンケート

■ 調査目的
 豊島区内で創業5年以下の法人・個人事業主を対象とし、豊島区を選んだ理由・希望する支援を聞くとともに、創業者の現在の課題を把握する

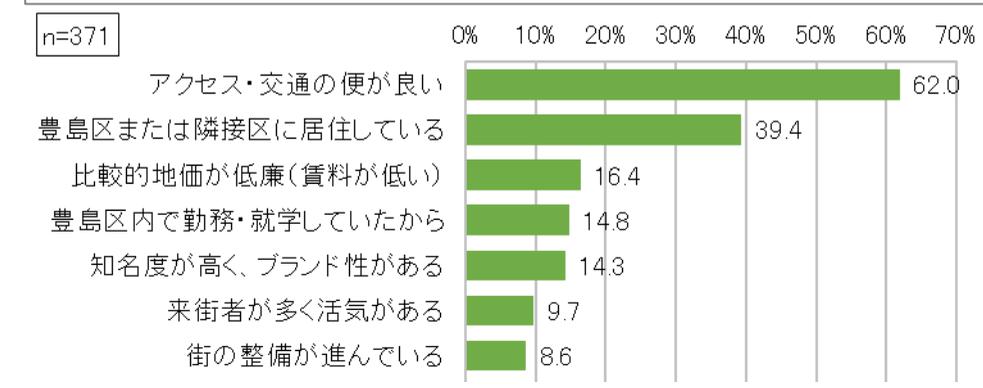
■ 調査期間
 2020年11月1日～11月20日

■ 調査方法
 郵送による調査票送付
 郵送・WEBによる回答

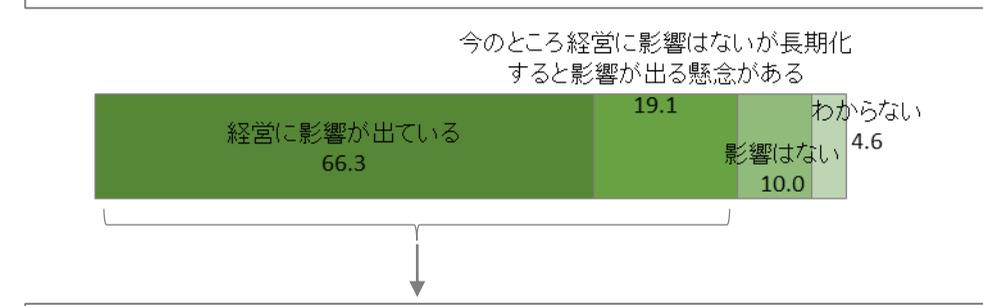
■ 調査対象 4,500社
■ 回答数：371社（回答率8.2%）
■ 回答者属性



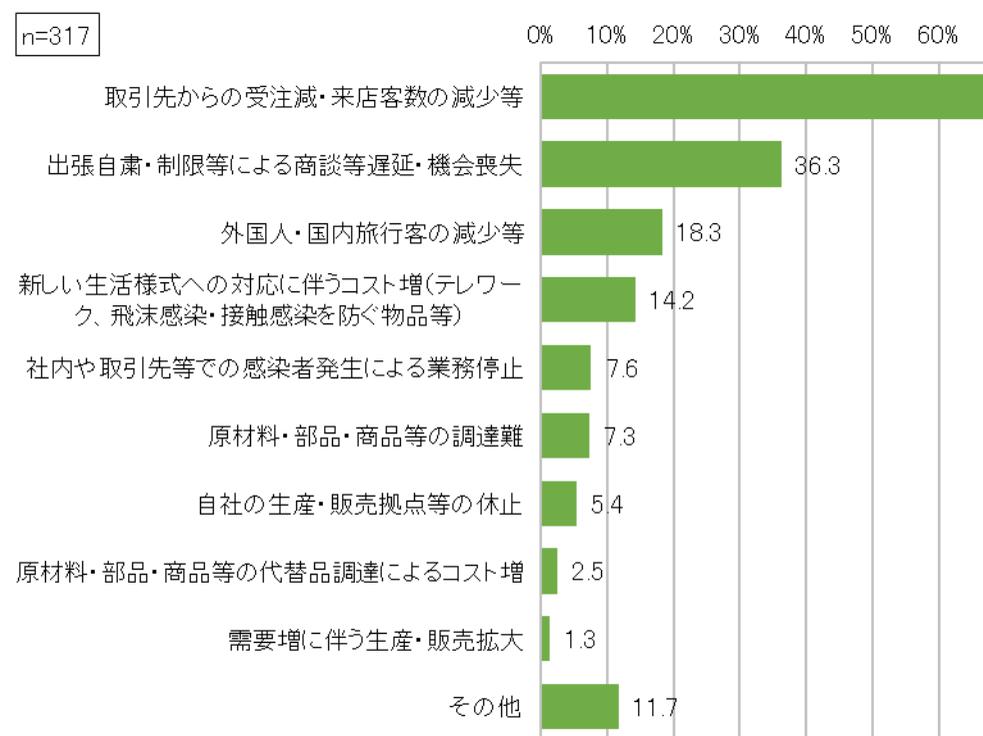
1. 豊島区で創業した理由(創業当時)
 「アクセス・交通の便が良い」「豊島区または隣接区に居住している」といった立地が2大要因となった。



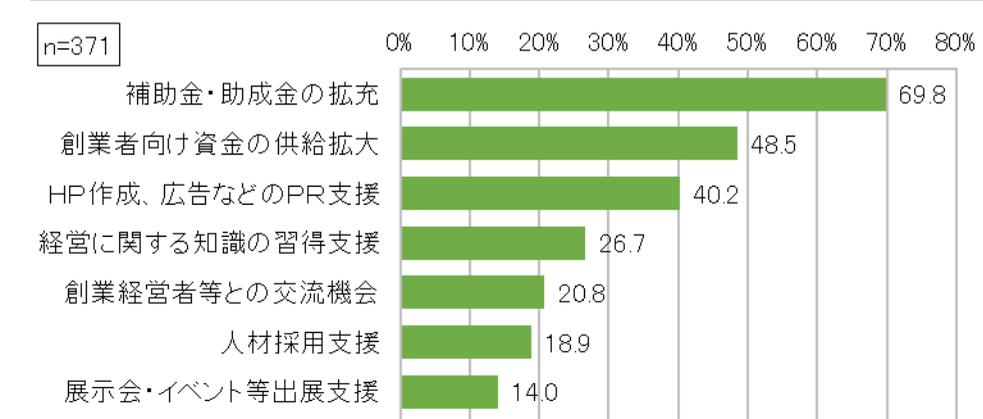
3. 新型コロナウイルスによる経営への影響
 「経営に影響が出ている」が66.3%と最も多く、「長期化による懸念」も含めると8割を超えている。



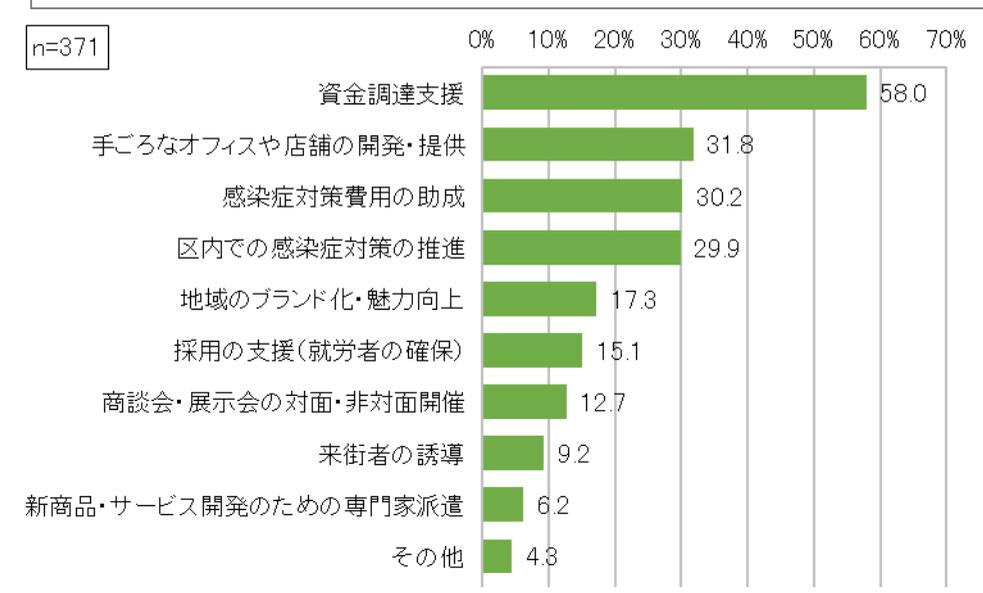
具体的な影響についてみると、「取引先からの受注減・来店客数の減少等」が70.7%と最も高く、次いで「出張自粛・制限等による商談等遅延・機会喪失」が36.3%となった。



2. 創業者が経営を軌道に乗せるために必要な支援
 資金調達・販路開拓の支援を求める声が多かった。



4. 今後も豊島区で事業を継続するために必要な支援
 「資金調達支援」が58.0%と最も高かった。「感染症対策費用の助成」や「区内での感染症対策の推進」も3割となった。



5. 創業時や事業の推進にあたり障害となったこと

- (自由記述より抜粋)
- 銀行口座開設のためには事務所の開設が必要であったが、家賃は固定費として重荷になっている。
 - シェアオフィスに入居しており銀行口座開設が難航した。
 - 創業融資が思うように受けられなかった。
 - 前年度所得があり、創業融資の対象にならなかった。
 - 創業にかかる諸手続きや融資の相談先が見つけれなかった。
 - 国・都・区の支援メニューについて情報収集が難しく、うまく生かせなかった。